大分市立
野津原小学校
学校だより

のつはる

主体的に学び 行動できる児童の育成

第10号
令和8年9月2日
校長 水田 匡彦

■楽しさの方程式

1学期末児童アンケートの「学校の生活は楽しいですか。」という質問に対する子どもの肯定的回答は94%でした。学校は100%を目指したく、どうすればよいかを考えています。まず、子どもたちはどういうときに楽しいと感じるのかを、想像しながら書き出しました。青字は「自分のがんばり」により得られる楽しさ、赤字は「クラスの優しさや相手意識」により得られる楽しさ。これらから、図1に示す楽しさの方程式を導き出すことができました。自分が楽しく感じるのは、自分ががんばったときと、クラスの優しさや相手意識を感じたとき。また、自分の優しさや相手意識は、友だちが楽しく感じるかどうかに影響します。ここで注意しておきたいことは、クラスの優しさや相手意識はマイナスにもなり得るということ。クラスの優しさや相手意識が欠落すると、自分ががんばって得た楽しさが減ってしまいます。自分の優しさや相手意識が欠けたときも友だちの楽しさは減ってしまうのです。それだけ、クラスの優しさや相手意識は子どもたちの楽しさに影響するのです。このことを正しく理解して、考えて行動できる子どもが増えるように、学校は継続して、優しさや相手意識の大切さを伝えていく所存です。

- 授業で、「なるほど!」と分かったとき
- いつもと違う体験や新しい世界に出会えたとき
- 昨日の自分より「できるようになった」と実感したとき
- 休み時間に気の合う友だちと話したり、遊んだりしたとき
- 自分の意見や作品を、先生や友だちに認められたとき
- 自分の役割を果たして「ありがとう」と感謝されたとき
- クラスの仲間と協力して目標をやり遂げたとき
- 失敗しても温かく受け止めてもらえたとき
- クラスでやさしくされたとき

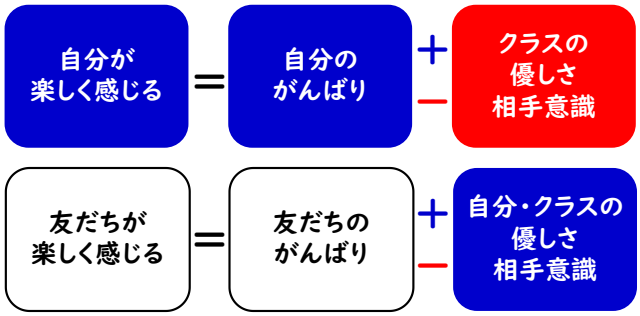

図1 楽しさの方程式

■すいみんふり返りカード

夏休み期間中、お子さんの生活習慣、特に、睡眠時間の確保はできていましたでしょうか。いよいよ2学期が始まりましたので、今一度、生活習慣を確認していきましょう。小学生に最も大切な生活習慣は、睡眠時間の確保だと考えます。6月に開始した「すいみんふり返りカード」を、2学期も継続します。その理由は、①子どもたちの睡眠実態を把握できる、②自分の睡眠時間の実績をふり返り、改善する児童が出てきた、③毎日、カードをチェックすることで、子ども一人ひとりの様子がわかる、からです。ご家庭でも関心を持って確認いただきたいと思います。なお、1学期末の保護者アンケートで、家庭学習、整理整頓・片づけ、家庭の仕事・手伝いができていないとの結果が確認されました。そこで、毎日、これらについてもチェックできるようにカードのフォーマットを変更しました。これらにつきましても確認いただき、必要に応じてご家庭でも指導いただければと思いますので、重ねてよろしくお願いいたします。

■決戦の日は、10月17日(土)

運動会を10月17日(土)に開催します。応援パフォーマンス、短距離走、表現、団体、紅白リレー等、見所満載です。運動会は、体育科を中心とした学習活動全体の総合的な発表の場であり、子どもたちが自ら行事を創造する過程で、集団の一員としての所属感と自主性を高められるようにして参ります。4年生以上は、運動会を運営する係活動にも携わりますので、黒子役の姿もぜひご覧いただければと思います。なお、赤白帽子の伸び切ったゴムは、ゴムの機能を果たしておりませんし、見た目にもかっこよく見えませんので、付け替えていただけると助かります。